

～ 山形県産農畜産物の輸出に係る取り組み ～

令和2年10月30日



全 農

J A 全農山形 農業支援統括部

～全農グループの農畜産物輸出拡大の基本的考え方～

1. 国内市場が縮小するなか、新たな需要を開拓するために不可欠な事業と認識。継続的に拡大する事業としてグループを挙げて積極的に取組む。⇒ 海外に販路！



2. 輸出事業は究極のマーケットインの事業と認識。相手国のニーズ等の徹底的な調査とそれに対応した流通対策、産地対策が不可欠。⇒ 売れる商品づくり



3. 生産者をはじめとして事業全体の収支がとれることが大前提。

⇒ 農家手取りの確保・輸出事業の収支確立



○輸出目的：海外マーケットでの収益確保

○課題：売れる商品づくり・売り場の確保・多段階流通・県別営業

○対応：自ら輸出し販売する仕組み（サプライチェーン）づくり

2. JAグループの輸出事業展開イメージ

全農

